

みみちゃん通信 NO.4 岐聖大ふぞく幼稚園 発行

紫陽花が雨に濡れて、色の移ろいを楽しませてくれています。

室内で過ごすことが多いこの時期は子ども達のエネルギーも有り余っていることでしょう。降り続く雨の様子をお子さんと一緒に眺めたり、小雨になったら思い切ってお散歩に出かけたりすると思いがけない発見や出会いがあるかもしれませんよ。



雨具を着けていざ出発！

傘の使い方を知ろう…子ども用の小さい傘があれば、差し方や持ち方を教えましょう。周りに迷惑をかけたり、視界をふさいだりすることがないように上手に扱うことを体験させてあげてください。

いろいろな発見…水たまりの中を歩くとバシャバシャいい気持ち。もちろん長靴を履いて歩こうね。



草花を振ると、花にたまった水がしぶきになって飛び散り、おもしろい！草陰や濡れたブロック塀にカタツムリをみつけた。

どんなふうに動くのか観察してみましよう。田植えを終えた田んぼ



に行く、カエルやオタマジャクシにも出会えるかも…どんな声で鳴くのか、耳をすまして聞いてみましよう。

畑の野菜もすくすく成長しています。きゅうり、なす、トマト、ピーマンなど、店頭には並ぶ野菜がどんなふうに育っているのか、ちょっと覗いてみてください。プランターやバケツでも手軽に野菜の栽培ができます。いろいろな苗が手軽に購入できるので、機会があればぜひお試しください。



知っておこう！トイレトレーニング

排泄の自立には個人差があり、入園までにオムツが外れない子どもいます。大人が必要以上に焦ったり、心配したりすることなく、子どもの成長に合わせてゆったりと進めていきましょう。

<排尿のメカニズム>生まれたばかりの赤ちゃんは、大脳が未発達なため尿意は感じず、ぼうこうに尿がたまると延髄の反射で尿がでます。その後、一人歩きができ、言葉を話すなどの成長に従い、大脳の働きが活発になることで尿意を感じるようになります。神経回路が発達すると「ぼうこうがいっぱいになるまで尿をためておく」

→「尿意を感じて、大人に知らせるか、自分からトイレに行く」→「トイレに行ってから排尿する」というように自立していくのです。



<トイレトレーニングの時期>

個人差はありますが、おまるやトイレに興味が出てきたりタイミングが合っとうまくできた時がよいきっかけになることもあります。薄着になって、洗濯物の量が増えても、すぐに乾く夏場がやりやすいとも言われたりしますが、時期がきたらいつでも始めてみてください。もううまくできた時にはお子さんをうーんとほめてあげてください。

(学研 「ほけんだより 12か月」より)